

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-2	政策名	学校教育の充実	政策の 目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくい きいきと育っています	施策 主管課	小中学校課	施策主管 課長名	菅野 広紀
	施策No.	4	施策名	教育環境の充実	施策の 目指す姿	適正で安全な施設環境が整 い、家庭・地域と連携した学 校教育が行われています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育や保護者の価値観が多様化している状況のなか、学校と家庭、地域が一体となって子どものためにより効果的な教育を行うための、相互の信頼関係が希薄になっています。 ・児童生徒の数は、平成18年の8,862名から平成25年の8,040名と減少しており、小規模校の出現や複式学級化がみられます。 ・近年、夏の時期は猛暑の年もあり、暑さに対する児童生徒の健康管理が懸念されています。また、生活様式の変化に伴い、家庭で洋式トイレが普及しているなか、学校の和式トイレに慣れていない生徒が見られます。 ・学校施設においては、老朽化の進行が見られます。 ・市内の私立学校では活力と特色ある学校運営が行われています。 								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1)地域に開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の安全指導体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーによる巡回指導、小中学校の巡回指導及び評価、スクールガード養成講習会の実施 ○教育活動の積極的な公開 ○家庭、地域との協働による学校運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域と「まなびフェスト」を共有し、協働して目標達成に向けた取り組みを展開 ○家庭、地域の教育力向上のための支援 <p>(2)教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子化による児童生徒減少に対応した学区編成 <ul style="list-style-type: none"> ・「児童生徒数の推移と今後の見通し」という資料を地域の代表者等に配布 ○私立高校の振興に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・私立高校の運営に関する補助金交付 ○安全安心で快適な学習環境の計画的な整備 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎等維持補修工事

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の割合	地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の状況を示す指標であり、開かれた学校づくりの推進状況を測ることができる。	「地域の方や保護者と協働した教育活動を実施していますか」という学校アンケートで肯定的な回答をした割合	%	目標値				96.7	100.0	100.0
				実績値	—	90.0	93.3			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「地域との協働による教育活動に取り組んでいる学校の割合」については、9割を超えている。まなびフェストが定着し、具体的な数値目標を周知するとともに、取り組みの様子や学校アンケートの結果等を積極的に公開してきた成果である。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	小中学校学区再編成等調査事業	教育企画課	C	地域代表者等に資料を配布し、現状認識を促すことが、適正な学校環境づくりにつながる
	「児童生徒数の推移と今後の見通し」という資料を地域代表者等に配布			
2	私立高校振興事業	教育企画課	C	花巻市内私立高校の教育環境整備の充実に寄与している
	私立高校の運営に対する補助金交付(3,240千円)			
3	学校安全確保事業	小中学校課	A	不審者情報が9件であり、スクールガード活動が抑止力となり、安全な通学に貢献している。
	スクールガードリーダーによる巡回指導(実施回数:165回) スクールガード養成講習会の実施(開催回数:3回)			
4	小学校施設維持事業	教育企画課	A	全小学校において、施設維持修繕が行われ、児童の安全な学習環境が確保されている。
	学校施設要望等による修繕(修繕学校数:19校)			
5	中学校施設維持事業	教育企画課	A	全中学校において、施設維持修繕が行われ、生徒の安全な学習環境が確保されている。
	学校施設要望等による修繕(修繕学校数:11校)			
6	湯口中学校校舎改築事業	教育企画課	A	老朽化の著しい施設の改築を進めることは、安全な教育環境の充実に貢献している。
	用地・現況測量、基本設計			
7	学校給食センター施設維持事業	小中学校課	A	調理従事者が安全に作業できる施設設備を整え、児童生徒に安全安心な給食を提供した。
	老朽化した施設の修繕(実施件数:63件) 機械の更新(備品整備件数:10件)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

・家庭、地域との協働による学校運営の充実のために、学校の実態を把握し、支援策を検討する必要がある。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・家庭、地域と連携した学校教育については、各学校で創意工夫し取り組んでいるところである。しかし、その実態を把握していない。実態を把握したうえで、支援策を検討する必要がある。

(今後の方向性)

・家庭、地域と連携した学校教育が行われるためには、「学校評価」を学校経営計画の改善に生かす方策を検討する必要がある。